

H24-P6(防災・安全) 安全で快適な道路空間を確保する整備

防災・安全交付金(H24-P6)

京都市の課題

高齢者や身体に障害のある人等、だれもが安全・快適に通行できる道路空間の整備が遅れている。

対 策

・駅周辺の道路の歩道において、「段差解消」や「幅員の確保」等の「バリアフリー化」を推進し、また無電柱化事業により歩道幅員を確保することで、すべての人々が「快適に移動できる歩行空間」を構築します。

・死傷事故の発生割合が高い箇所において、集中的な交通事故抑止対策を実施し、「安全な道路交通環境」を構築します。

成 果 目 標

- | | |
|---|---------------------------|
| ①あんしん歩行エリア整備率 | 45%(H24 当初) → 100%(H27 末) |
| ②(重点整備地区内の)バリアフリー化率 | 51%(H24 当初) → 78%(H27 末) |
| ③交通安全に関する課題(交通事故の多発等)の解消が必要な地区における対象路線整備率 | 0%(H24 当初) → 100%(H27 末) |
| ④(幹線道路・景観地域の道路の)無電柱化率 | 9%(H24 当初) → 11%(H27 末) |
| ⑤(事故危険箇所における)交差点改良率 | 0%(H24 当初) → 100%(H27 末) |

事業が完成すると？

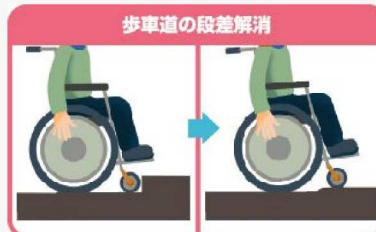
・安全で快適な歩行空間の確保

等の効果が期待されます。

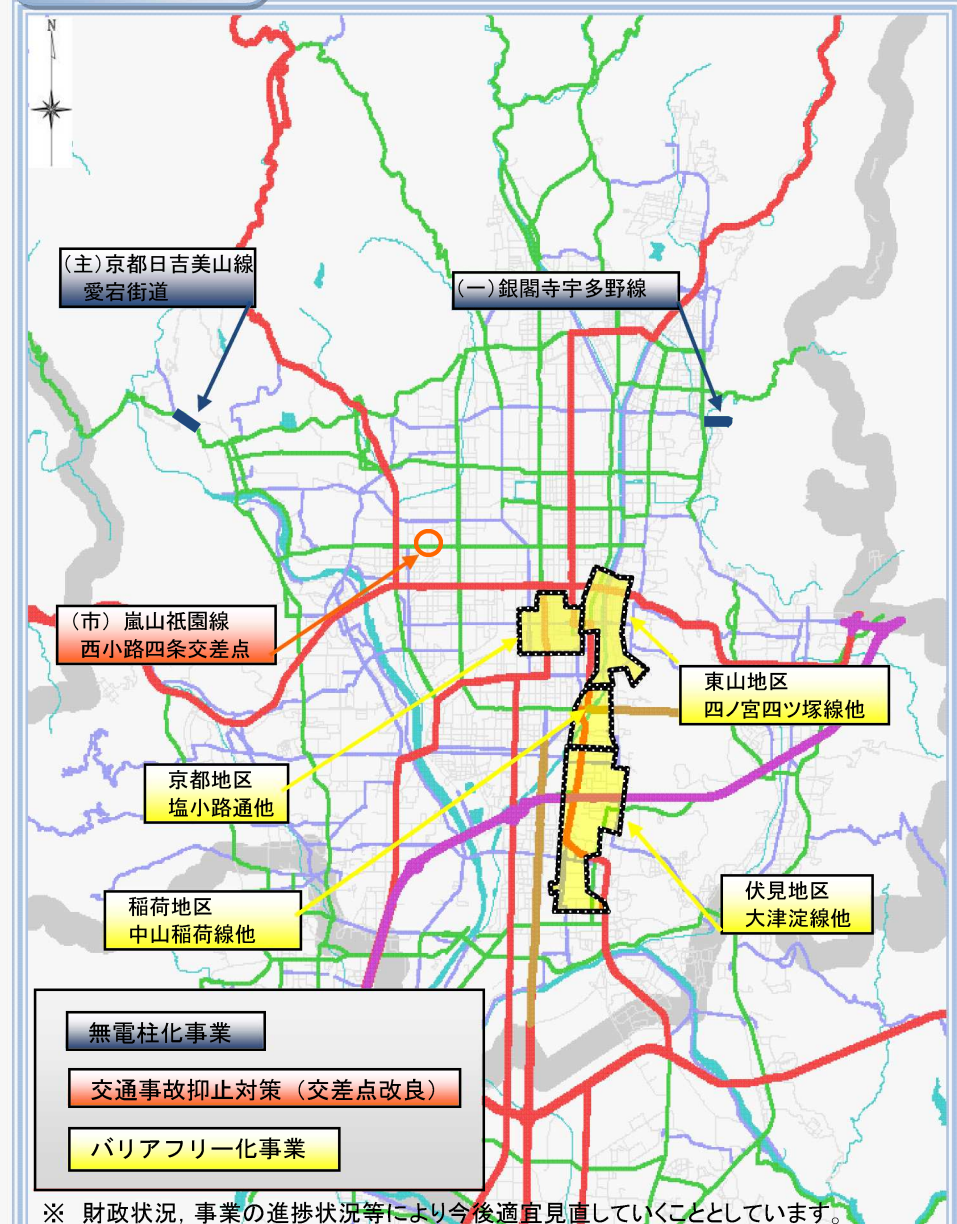
更にこんな効果が

- ・公共交通機関の利用促進
- ・人が主役の魅力あるまちづくりの創出
- ・交通事故の減少

バリアフリー化事業の
完成イメージ等



主な事業箇所



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称：安全で快適な道路空間を確保する整備

都道府県名：京都市

チェック欄

Ⅰ. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
Ⅱ. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○